

高学年 テーマ③ 災害から身を守る行動を知る

学習のねらい	大雨が降ったときの身を守る行動（避難）を知る <ul style="list-style-type: none"> ■大雨による災害からの避難を知る ■避難に役立つ情報を知る ■そのときの状況で避難が変わることを知る 	
必要物品・資料	□ 授業用スライド資料(高学年③) □ プロジェクター・スクリーン □ ワークシート(高学年③) □ レーザーポインター（もしくは差し棒）	

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目（1分）	1		
導 入 （計 8 分）			
1. 洪水・土砂災害について思い起こし、学習のねらいを確認する。			
1-① 大雨が降ったとき、街がどうなってしまうのかを想起する。	2 3 4 5~7	● 雨がたくさん降ると、どんなことが起きるでしょうか。 ・洪水災害が起きる。 （道路が水に浸かる。川が溢れる。） ・土砂災害が起きる。 （がけが崩れる。土石流が流れる。） →模範解答を提示 ● みんなの住むまちや近くのまちで、以前に大雨が降ったとき、どうなったのか知っていますか？ ● 【写真提示:地域で発生した洪水・土砂災害の紹介】 ・いつ発生した災害か ・どのような災害が発生したか ・どんな被害があったか	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ◆ 大雨が降ると、まちが危険な状況になることがあることをおさえる。 ◆ 地域で発生した印象的、象徴的な洪水・土砂災害の事例を紹介する。 <small>資料集参照:同様の事象が起きている地域の写真への差替えてください。</small>
1-② 学習のねらいを確認する。	8 9	● 大事なことは、洪水災害や土砂災害が起こりそうな大雨のときは、危険から身を守る行動をとることです。 ● 今日は、「大雨が降ったときの身を守るための行動（避難）」について学習します。	☆ 大雨のときの危険な状況を理解する。 知識
展 開 （計 2 7 分）			
2. 洪水・土砂災害からの“避難”を知る。	10~ 11 12	● まず、避難について学びたいと思います。“避難”とは、安全な場所へ行くなどして、災害から身の安全を守ることです。 ● “避難”についての○×クイズをしてみましょう。自分が正解だと思うほうに手を挙げてください。	◆ ○×クイズは、手挙げ方式で全員参加を想定しているが、タブレットで○×回答させる方法も可。
2-① 避難所について知る。	13 14	● 問1:「避難所」とは、災害が起きそうなときに逃げ込める場所である？ → ○:学校などの公共施設が避難所として指定されている	
2-② 避難情報について知る。	15 16~ 17 18	● 問2:大雨で災害が起こりそうなときに役所から発令される情報の中に「避難指示」や「緊急安全確保」と呼ばれる情報があります。より災害の危険性が高いときに発令されるのは「避難指示」である？ → ×:「緊急安全確保」です。なお、発令される避難情報は3種類あり、図の順に危険度が高くなります。ただし、必ず順番で発令されるとは限りません。 ● 大事なことは、避難情報が発令されなくても、災害の状況によって、避難の判断することが大切です。もちろん、身の危険を感じる場合は避難をはじめましょう。	◆ 自らの判断で避難行動をとることが原則であることを説明する。発表される避難情報は、その判断をするための一つの手段であることを説明する。また、外れる可能性や、発表されない場合もあることも説明する。

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
2-③ 洪水災害(内水氾濫)からの避難を知る。	19 20~ 21	● 問3:「大雨が降って、道路が水に浸かっています。」「深さはみんなのヒザより低いくらいです。」この道路を通して安全に避難所へ行くことができる? → ×:水で流されてしまったり、マンホールに吸い込まれたりする危険もあります。	◆ 水に浸かっているため、深い場所や側溝などがわからなくなり、大変危険であることをおさえる。 ☆ 早めの避難が重要であることを理解する。 知識
2-④ 土砂災害時の避難を知る。	22 23~ 24	● 問4:道路にヒビが入って、少し崩れています。近くのガケにもヒビが入っています。この道路を通して、安全に避難所へ行くことができる? → ×:ガケにヒビが入っていたり、水が噴き出していたりする状況は、土砂災害の前兆現象で、とても危険です。	☆ 早めの避難が重要であることを理解する。 知識
2-⑤ 早めの避難が重要であることを知る。	25 26	● 大事なことは、災害時にはいつもの道が通れなくなったりもします。大事なことは、災害で危なくなる前に避難をすることです。 ● 身を守る行動として、避難所まで行くことが危険なときは高いじょうぶな建物の水が来ない階への避難や、土砂災害時は自宅の2階、がけや斜面から離れた場所への避難があります。	☆ 洪水・土砂災害いずれにしても、早めの避難が重要であることを理解する。 知識
3. 状況に応じて避難が異なることを知る。	27	● 状況によって避難するかどうか、考えてみましょう。 【ワークシート(高学年③)】を配付	
3-① 提示した状況で、避難するかを考える。(ワークシート「問1」へ記入する。) Point:アクティブラーニング 課題解決学習活動(疑似体験) 避難判断の体験をととして、状況に応じて判断が異なることの理解を促す。	28~ 32 33	● 次のような状況で避難するか考えてみましょう。「日曜日の昼間、家族と一緒にいるとき」を想像してください。 → A~Cの状況を提示 ● A~Cの状況に対して、「避難する」か、「避難しない」かを考えてみましょう。何故そうしたかの理由も考えましょう。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 避難に関する自分の考えを示すことができる。 表現力 ※ 想定状況は、A~Fの中3つ程度選定する。(今回はA~C) ※ 時間があるときは、追加条件を提示し、避難の判断がかわることの理解を深める。
3-② 自分の考えを発表・交流する。 Point:アクティブラーニング グループ活動(ディスカッション) 意見を共有することで、多様な考えがあること、人(状況)によって考えが異なることへの理解を促す。	34	● 近くの人と見せ合ってみましょう。他の人の考えと違うところはありますか? 避難する・しないだけでなく、理由も比べてみましょう。意見を聞いて考えが変わった場合は、×をつけて書き直してもよいです。 ・ 同じところがあれば、違うところもあった。 ・ いろんな考えの人がいた。(おばあちゃんや、赤ちゃんがいるから、/高いところに住んでから、避難しない など) ● 災害時はA~C以外にも色々な状況が考えられるので、追加で3問宿題として出します。同じように考えてみてください。※	◆ 友達とワークシートを見せ合って、それぞれの避難に対する考えを比べることを促す。 ☆ 個人それぞれの状況が異なることや、避難に対する考えも異なることに気づける。 人間性 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えてもらう。 ※ 宿題とせず授業内で扱ったり、宿題を出さなくてもよい。
ま と め (計9分)			
4. ふりかえりをする。	35	● 今日の学習で学んだことをふりかえります。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 状況に応じてどう行動するかを考えることができたか。 判断力 ☆ 思ったことや感じたことを表現できる。 表現力 ◆ 「状況によって避難が異なる」、「早めの避難が重要」を最後に改めておさえる。 ◆ 市町村で公表されている洪水・土砂災害に関するハザードマップを紹介し、関心を高める。
4-① ワークシート「問2」へ記入する。 Point:アクティブラーニング レポート活動 自分の思ったこと、考えたことをまとめることで、理解を深める。	36	● 今日の学習の感想を書きましょう。	
4-② 本時のふりかえりをする。	37 38 39~ 42	● 災害時、役所から発令される避難情報の発令を待つのではなく、災害の状況によってそれぞれが避難の判断をすることが大切です。 ● 災害が起こる前に安全な場所へ避難することの大切さがわかったと思います。置かれた状況によって「避難」も違ってきます。 ● 災害で命を落とさないためにそのときの状況にあった避難をすることが大切です。家族と一緒に、災害時の行動や備えを話し合っておきましょう。	
授業終了			